

放置竹林を資源に!

特定非営利活動法人 あぶくまの里山を守る会

里山再生 伐採した竹を有効活用



今、里山では竹が猛威を振るっています!

このまま放置された竹が増え続けると、土壌悪化・生物多様性の減少・良質なタケノコの減少などますます深刻な問題が引き起こされてしまいます。

その問題が分かっているにもかかわらず、竹藪を整備するのはとても重労働!! 手つかずで放置されてしまっている所がほとんどです。

そんな厄介者の竹を「資源」としてうまく利用して「地域資源の循環のしくみ」づくりを試みているNPO法人が「あぶくまの里山を守る会」です。

- ①阿武隈川河川敷放置竹林の整備
- ②竹チップde生ごみコンポスト【ネグナッター】の試作・試験運用
- ③竹あかりイベントのサポート(竹あかり製作ワークショップの開催)
- ④無煙炭化器を使用して枯れ竹でポーラス竹炭づくり

主な事業

竹チップ de 生ごみコンポスト

(家庭の生ごみ問題と放置竹林問題を同時に解決します。)

家庭の生ごみ問題を環境破壊につながる放置竹林を整備することで解決できたら一石二鳥!

そんな思いから生まれたのが《竹チップ de 生ごみコンポスト:通称「ネグナッター」》です。

「ネグナッター」は、もともとは神奈川県葉山町在住の松本信夫さんご夫妻が考案した「バクテリア de キー一口」を参考にしています。「キー一口」は黒土を基材に使用していますが、黒土の代わりに竹チップを使って試作しました。竹チップを使用する方が生ゴミの分解が早い傾向です。

あぶくまの里山を守る会では、2022年6月と7月に開催した試作ワークショップの時点では「キー一口」という名称を使わせていただいていたのですが、その後運用してみた状況から「生ごみが無くなったあ」⇒「ネグナッター」(宮城の訛りです)に改名しました。

ゴミは焼却する際に多くのエネルギー(主に石油)を使います。そして、水分の多い生ゴミは焼却の際に必然的により多くのエネルギーを必要とします。

私たちにできることをできる範囲で少しずつ始めること。そして継続すること。

竹チップ de 生ごみネグナッターを多くの家庭に普及させることで、放置竹林問題とゴミ問題を一気に解決する究極のプロジェクトが地域ぐるみで始まりました。

ネグナッター外観



III 竹に関する取り組み



ネグナッター試作ワーク



粉碎機で竹チップを作る



ネグナッターに生ごみを投入

特定非営利活動法人 あぶくまの里山を守る会

〒981-2171 宮城県伊具郡丸森町字船場32番地6 (担当:中畑義巳)

090-7324-6119 abukuma.31080@gmail.com <https://www.facebook.com/abukumanosatoyama>